

基本目標3 安心・安全で住みよいまちづくり(地域・暮らし・生活基盤)

快適で安心・安全な生活環境を整備することは、全ての人にとって必要であるため、これからも住民生活に寄り添ったまちづくりが必要不可欠です。

- 急速な人口減少により消費や地域経済の縮小、まちの中でも空き家が増えてきているという課題がある中で、近年の地方移住への関心傾向など、ライフスタイルの多様化を踏まえ、本町の魅力を広めることや、空き家情報の継続的な情報提供を行い、本町への移住・定住を促進できる取組を推進します。
- 今後も住みたいと思えるようなまちづくりをしていくためにも、住環境をはじめとしたライフラインの充実や交通の利便性を図ります。
- 犯罪や交通事故、消費者トラブルを抑制し災害時における対応体制を確立し、地域ぐるみで防犯に努め、安心・安全なまちを目指します。

分野別施策

【3-1】ライフラインの充実

【3-2】移住定住の促進

【3-3】公共交通の充実

【3-4】防犯・防災・交通安全対策・安心な消費生活

地域共生社会：
制度・分野ごとの「縦割り」や「支え手」「受け手」という関係をこえて、地域住民や地域の多様な主体が参画し、人と人、人と資源が越えてつながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会を目指すもの

基本目標4 すこやかに暮らしつづけるまちづくり(健康・福祉・医療・子育て)

全ての人々が、住み慣れた地域で、いつまでも自分らしく生き生きと暮らし続けるため、年齢や性別、障がいや疾病の有無に関わらず、お互いに認め合い、相互に支え合うことができるまちづくりを行います。

- 全ライフステージに応じたところとからだの健康づくりに関する様々な情報の提供に努め、町民一人ひとりによる自主的な健康づくりの推進を目指します。
- 子育て世帯の状況把握に努め、妊娠・出産・育児それぞれの過程における相談支援・経済的支援を切れ目なく実施することで子育ての負担や不安を軽減し、適切な保育サービスの提供や関係機関との十分な連携を図ることで、地域において安心して子育てできる環境づくり、安心して働ける環境づくりを推進します。
- 少子高齢化に伴い、労働力不足や地域内関係の希薄化が見込まれるなか、町民同士のつながりを基本とする支え合いは非常に重要となります。高齢者がいきいきと暮らせるような健康づくりや、自助・互助等の福祉意識の醸成に取り組み、あらゆる町民が活躍し、福祉サービスと協働しながら暮らし続けることのできる「地域共生社会」の実現を目指します。
- 町民にとって必要な医療を安定的に提供するための環境整備及び「保健・医療・福祉・介護」の連携をさらに充実させ、全ての町民が安心して医療を受けられる体制の充実に努めます。

分野別施策

【4-1】健康づくりの推進

【4-2】子育て支援の充実

【4-3】地域福祉の推進

【4-4】地域医療体制の充実